（参考）

就学前教育アドバイザー等の「支援訪問」

教育研究所就学前教育センターでは、幼稚園・認定こども園・保育所(園)・私立幼稚園の保育者の資質向上のための支援を、園・所内研修、研究会や市町村が行う研修を支援します。

様々な研修を支援します

①研究保育を伴う研修

子どもの活動や対象保育者の保育の様子を園・所の先生方と共に観察します。その後、協議を行い、教育・保育の方法や子どもの育ちについて共に考えます。写真やビデオ、ワークショップ等を用いる場合もあります。

②講義又は協議・演習等を行う研修

園・所での取組や実態を基に協議・演習を行うほか、実技を伴わない講義を行います。（保育内容全般、特別支援教育、幼小接続等）

③保育技術専門研修

保育技術のスキルアップのために、保育者が技術(音楽・表現活動、造形活動、運動遊び等)研修を受けるものです。

支援訪問の手続きの流れについて（園・所からの要請の場合）

園・所等	市町村所管課	教育研究所
園・所内研修計画 →	各園・所の計画を取りまとめ、教育研究所就学前教育センターに送付 ※（認定こども園・保育所・私立幼稚園は奈良っ子はぐくみ課を経由する）	
	就学前教育アドバイザー等 支援訪問計画書 →	受理・調整
	要請に対する回答 →	
	園・所へ連絡 ←	教育研究所と調整
2週間前	就学前教育アドバイザー等 支援訪問における派遣について（依頼） →	
1週間前	保育指導案 就学前教育・保育 支援シート →	支援内容に応じたアドバイザー又は指導主事が、日程調整の上、訪問する。
当日	園内研修の実施	

私たちが支援します

就学前教育アドバイザー

幼稚園・こども園園長、保育所長経験のある就学前教育アドバイザーが、指導案・実践保育等を通して、現場の先生方に寄り添いアドバイスをします。また、保育の身近な疑問・質問にもお答えします。

指導主事

幼児教育担当指導主事が、国や県の動きも踏まえアドバイスします。

支援訪問を活用した

園所内研修を計画しましょう

　各幼稚園・認定こども園・保育所(園)・私立幼稚園における園所内研修は充実していますか。

　園所内研修の意味や進め方を見直し、園所の活性化を図りましょう。

　教職員間で日々の保育について話し合うことが、子どもを見る目と保育を構想する力を養い、保育実践力を高めることにつながります。目を輝かせて学びを探究する子どもたちの姿は、学び続ける教職員の映し鏡かもしれません。

こんな研修になっていませんか？

研究保育の参観 → 保育の感想 → 指　導

子どもの実態 → 課題と反省 → 指　導

一人一人が主体性をもって取り組める研修を考えましょう。

Step1　年度初め　テーマを設定しましょう

- 年間の研修テーマを決め、目標をもって進めましょう。
- 自分たちでできることや、研修したい内容を提案してみましょう。

ここがポイント！
　園・所内研修は1回で終わりではありません。継続することで、教育・保育の質の向上が実感できます。

Step2　4～5月頃　研修計画を立てましょう

- 目標に沿って、継続的に取り組みましょう。
- 就学前教育アドバイザーの支援訪問を利用する日程を決めましょう。

ここがポイント！
　他園・所へも参加を呼びかけましょう。新たな視点が得られます。

Step3　1か月前～1週間前　支援訪問の手続きをしましょう

- 「支援訪問の手続きの流れについて」に沿って、依頼文、支援シート、指導案を作成しましょう。
- 支援シートや指導案の作成を通して、これまでの指導を見直し、研修したい内容を明確にしましょう。
- 無理のない内容で当日の流れをアドバイザーと相談しましょう。

ここがポイント！
　公開クラスは１つがベスト。みんなでじっくりと研修を深められます。

Step4　当　日　園・所内研修をしましょう

- 研修の主役は園・所の先生方です。アドバイザーはサポーターです。
- 事前に研修のテーマを確認し、積極的に参加しましょう。
- 保育の善し悪しを議論するのではなく、「自分ならどうするかな」などを考え、これからの教育・保育や組織づくりに生かしましょう。

ここがポイント！
　みんなで研修に参加しているからこそ、園・所全体の教育・保育の改善につながります。

Step5　事　後　教育・保育に生かしましょう

- 研修の成果を教育・保育に生かしましょう。
- 日常的に声を掛け合うことこそが教育・保育の質向上につながります。

　園所内研修を行うことは、保育者の資質向上につながるものであり、目の前の子どもに対する質の高い教育・保育へとつながります。

　また、園所内研修には定型のものはありません。園所の実情に合わせてつくることが大切です。

　就学前教育センターでは、みんなが参加し、前向きに取り組むお手伝いをしています。